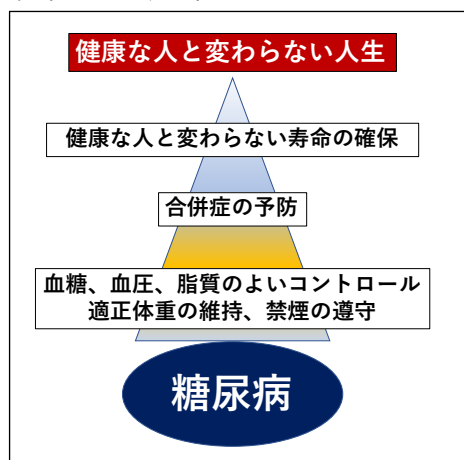
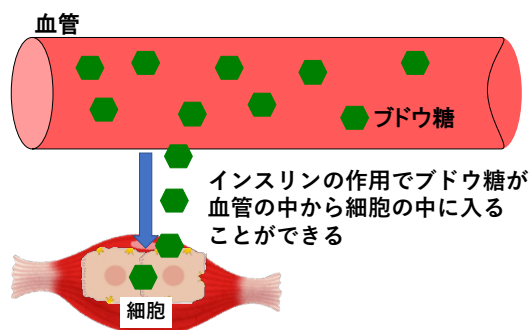


糖尿病とは？

糖尿病という名前からは「尿の中に糖が出てくる病気」というイメージがありますが、それは本質ではありません。糖尿病とはインスリンというホルモンの作用が不足することによって、慢性的に血糖（血液中のブドウ糖）が高い状態が続く病気です。高血糖の状態が何年も続くと血管が障害をうけ様々な慢性の合併症を引き起こします。また血糖値が著しく高くなると昏睡などの急性の合併症を起こすことがあります。

インスリンについて

インスリンは膵臓で作られるホルモンです。インスリンが作用することで血液中のブドウ糖は細胞内に入ることができます。インスリンの作用が不足する原因には、1) インスリンの量が少ないこと、2) インスリンの働きが悪いこと、の2つがあります。ちなみに今年にはインスリン発見 100 周年にあたります。



糖尿病治療の目標

糖尿病治療の目標は病気を良いコントロール状態にすることにより、糖尿病の合併症を予防し、健康な人と変わらない寿命や生活の質を確保することです。そのためには血糖に加えて、血圧、脂質（コレステロールなど）、体重を良好にコントロールし、禁煙の遵守など良好な生活習慣を続けることが必要です。西神戸医療センターの糖尿病教室だよりでは、この目標を達成するために、皆さんの役に立つ情報をこれから発信していきますのでよろしくお願い致します。

